

令和6年度鳥取県立博物館事業の予算について

(単位：千円)

事業 番号	事業 名	事業概要	予算額
1	企画展開催費	鳥取県の自然、歴史、美術分野の資料、作品、その研究成果等や、世界的・全国的に貴重な作品等について、企画展として広く県民に紹介する。 <博物館主催> (1) アートって、なに?～あそびながら知る、美術館のおもしろさ～ (仮称) (2) ネコ ～にゃんと!クールなハンターたち～ (仮称) (3) 幕末土佐の天才絵師 絵金展 (仮称) <報道機関との共催> 古代エジプト美術館展	75,145
2	博物館運営費	県民に快適な鑑賞環境が提供できるよう、来館者等から意見をお聞きしながら博物館施設の運営を行う。また、博物館が収蔵している約20万点におよぶ資料を害虫やカビ類などから守るための被害調査や防除対策を行う。	98,487
3	事業費 自然	自然資料(地学・生物・植物)の収集・保存と調査研究を行い、その成果を常設展示と教育普及活動により県民に紹介する。	6,015
4	事業費 人文	人文資料(考古・歴史・近現代・民俗)の収集・修復・保存と調査研究を行い、その成果を常設展示と教育普及活動により県民に紹介する。	12,392
5	事業費 学習支援	県民の生涯学習や学校教育を支援するために各種の講座や体験学習会、移動博物館などを実施するとともに、博物館の活動、研究成果、利用方法などについて広く情報を発信する。	7,967
6	事業費 美術	美術資料(絵画・彫刻・工芸・写真等)の収集・修復・保存と調査研究を行い、その成果を常設展示と教育普及活動により県民に紹介する。	9,460
7	整備検討事業 県立博物館改修	博物館の改修は、平成30年6月に策定した改修整備基本構想で、美術館整備スケジュール等を踏まえながら適当な時期に内容を改めて検討した上で着手するとされ、令和5年度に改修のための見直し検討に着手したところである。	25,630
8	震改修事業 県立博物館耐	県立博物館は、建築から50年以上経過し、施設の老朽化及び耐震力が不足している。地震に対して安全と判断できる耐震性能となるよう耐震改修工事を行う。	10,000
計			245,096

令和6年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費
6項 社会教育費
3目 博物館費

博物館（電話：0857-26-8042）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
企画展開催費	〔債務負担行為〕 70,000 75,145	〔債務負担行為〕 87,441 81,082	〔債務負担行為〕 △17,441 △5,937			〈雑入〉 8,664	〔債務負担行為〕 70,000 66,481	
トータルコスト	142,643千円（前年度 147,820千円）〔正職員：5.5人、会計年度任用職員：8.3人〕							

主な業務内容 企画展の開催

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

鳥取県の自然、歴史・民俗、美術分野の資料、作品、研究成果等や、世界的・全国的に貴重な作品等を県民に紹介するため企画展を開催する。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	企画展名 (仮称)	会期 (予定)	内容	予算額
春	古代エジプト美術館展	4月6日～ 5月12日 (34日)	日本唯一の古代エジプト専門美術館「古代エジプト美術館渋谷」のコレクションによる展覧会である。地元マスコミが開催する「古代エジプト美術館展」に共催参加する。	3,198
夏	アートって、なに？～あそびながら知る、美術館のおもしろさ～	6月29日～ 8月25日 (57日)	博物館の美術部門が50年以上の歳月のなかで展開してきた多岐にわたる活動を踏まえて、博物館が所蔵する美術作品や、鳥取県と関連のある作家の作品、国内外で活躍する注目作家の作品などを、ブース形式により、多様な切り口を設定して紹介する。	22,009
秋	ネコ展 ～あなたの知らないうちにネコの世界～	10月5日～ 11月10日 (34日)	ネコ科動物（イエネコおよび野生ネコ）の生物学的な知識を正しく伝え、ネコという動物を科学的な見地から紹介するとともに、イエネコという家畜化された動物について、また野生ネコと共存できる社会について考えるきっかけを提供する。	23,454
冬	幕末土佐の天才 絵師 絵金展	11月30日～ 1月13日 (34日)	幕末から明治初期にかけて数多くの芝居絵屏風などを残し、「絵金さん」の愛称で親しまれた、謎の天才絵師とも呼ばれる土佐の絵師・金蔵の、類稀なる個性とその魅力について、代表作の数々で紹介する。	26,484
合計				75,145

3 債務負担行為 令和7年度 限度額 70,000千円

区分	企画展名 (仮称)	会期 (予定)
自然	超絶！昆虫ワールド	令和7年7月5日～同年9月15日
人文	カブコンの傑作 -The Art of Making Game-	令和7年10月18日～同年12月14日
公募	未定・民間等との共催による企画展	未定・1カ月～1カ月半程度

4 事業目標・取組状況・改善点

<事業目標>

- ・収集・保存、調査研究を推進し展示を充実する。
- ・県民の豊かな学びを支援する。
- ・調査研究を行い、新たな知見を紹介する。

<取組状況・改善点>

- ・鳥取県の自然・歴史・美術に関する知見や新しい研究成果及び普段ふれることのできない世界的・全国的に貴重なものなどを、企画展として広く県民に紹介してきた。
- ・テレビ局と実行委員会を組織して企画展の広報を行い、SNS等を活用した広報にも取り組んでいる。

令和6年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費
6項 社会教育費
3目 博物館費

博物館（電話：0857-26-8042）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
博物館運営費	98,487	85,683	12,804			<使用料1,335 財産収入915 雑入895> 3,145	95,342	
トータルコスト	161,585千円（前年度 148,030千円）〔正職員：4.9人、会計年度任用職員：8.4人〕							
主な業務内容	会計事務処理、来館者対応、防虫・防菌対策							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

県民に快適な鑑賞環境が提供できるよう、来館者等から意見を聞きながら、博物館施設の運営を行う。
また、博物館が収蔵している約20万点におよぶ資料を害虫やカビ類などから守るための被害調査や防除対策を行う。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	内容	予算額
管理運営費	・各種設備等管理・保守等業務委託費 ・博物館運営に係る光熱水費及び施設修繕費 ・鳥取県立博物館振興会（ミュージアムショップ運営団体）補助金 ・全国博物館協会等加入負担金 ・その他一般事務費	85,714
（臨時）管理運営費	・紫外線吸収膜付蛍光灯購入	2,796
博物館協議会開催費	・博物館運営に関する意見聴取等（開催回数3回）	956
広報その他事業費	・各種展示等広報及び企画展図録作成経費 ・図書資料の購入経費	5,808
収蔵資料管理費	・防虫・防菌対策	2,633
博物館交流事業	・中国河北省博物院、韓国国立春川博物館との交流	580
	合計	98,487

3 事業目標・取組状況・改善点

<事業目標>

- ・県民へ充実した博物館サービスを提供するため、必要な施設・設備の維持管理を行うなど、博物館を円滑に運営する。

<取組状況・改善点>

- ・アンケート等を通して利用者の声を聞きながら、博物館運営の改善に取り組んでいる。
- ・博物館協議会を開催し、博物館事業について、専門的な立場から意見をいただいている。
- ・ミュージアムショップでは、博物館オリジナルグッズを製作するなど、販売グッズの充実に向けている。
- ・17時以降の開館時間延長は、来館者の状況を見ながら実施日を整理し、夏の企画展の土曜日に実施している。
- ・館内カフェは、利用者サービスを向上させるため、営業主体を5年毎に見直している。

令和6年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費
6項 社会教育費
3目 博物館費

博物館（電話：0857-26-8044）
(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
自然事業費	6,015	5,280	735				6,015	
トータルコスト	34,602千円（前年度 33,639千円） [正職員：2.9人、会計年度任用職員：2人]							
主な業務内容	学芸業務（常設展示、資料収集、研究相談等）							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

自然資料（地学・生物）の収集・保存と調査研究を行い、その成果を常設展示と教育普及活動により県民に紹介する。

2 主な事業内容

(単位：千円)

細事業名	内容	予算額
自然事業費	<ul style="list-style-type: none"> ・自然資料の製作、購入・修復及び収蔵資料の保存・整理 ・収蔵資料に関する調査研究 ・常設展示の更新とメンテナンス ・移動博物館や派遣講座等 	6,015

3 事業目標・取組状況・改善点

<事業目標>

- ・収集・保存、調査研究を推進し展示を充実する。
- ・新たな知見を紹介し、県民の豊かな学びを支援する。

<取組状況・改善点>

- ・新しく収集した資料及び調査研究成果を常設展示の展示替えに反映させ、また移動博物館等に利用し、広く県民に紹介した。
- ・貴重な寄贈コレクションの整理および調査を進め、その成果を展示や研究報告等で紹介した。

令和6年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費
6項 社会教育費
3目 博物館費

博物館（電話：0857-26-8044）
(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
人文事業費	12,392	20,632	△8,240				12,392	
トータルコスト	57,645千円（前年度 65,410千円）〔正職員：3.9人、会計年度任用職員：5人〕							
主な業務内容	学芸業務（常設展示、資料収集、研究相談等）							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

人文資料（考古・歴史・近現代・民俗）の収集・保存と調査研究を行い、その成果を常設展示と教育普及活動により県民に紹介する。

2 主な事業内容

(単位：千円)

区分	内容	予算額
資料収集・研究	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県の歴史・民俗を象徴する資料収集 ・収蔵資料の修復や整理 ・資料価値を高める調査研究 	2,646
常設展示の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展示室の運営、維持管理、展示更新 ・歴史の窓コーナー等で新知見を展示紹介 	1,471
鳥取藩政資料の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取池田家藩政資料を計画的に補修保存 ・資料活用及びデジタル発信 	8,275
合計		12,392

3 事業目標・取組状況・改善点

<事業目標>

- ・収集・保存、調査研究を推進し、展示を充実する。
- ・資料のデジタル化を促進するとともに職員のデジタルに関するスキルアップを図り、「とりデジ（とっとりデジタルコレクション）」を充実する。
- ・新たな知見を紹介し、「ふるさとキャリア教育」の視点に基づき、県民の豊かな学びを支援する。

<取組状況・改善点>

- ・調査研究成果や新収蔵資料、常設展示の展示替えに反映させ、広く県民に紹介した。

令和6年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費
6項 社会教育費
3目 博物館費

博物館（電話：0857-26-8044）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
博物館学習支援事業費	7,967	8,045	△78				7,967	
トータルコスト	35,172千円（前年度 35,090千円） [正職員：3.1人、会計年度任用職員：1人]							
主な業務内容	博物館普及活動							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

県民の生涯学習や学校教育を支援するために、各種の講座や体験学習会、移動博物館などを実施するとともに、博物館の活動、研究成果、利用方法などについて広く情報を発信する。学校と連携し、子どもたちの体験を通じた学習を支援するとともに、授業の充実に資する講座の提供に努める。また、県内の小・中・高校生に対して、ふるさと鳥取の良さを感じ、誇りに思い、地域に貢献しようとする人材や、遠くに離れていてもふるさと鳥取を思い、鳥取を支えるような人材の育成につなげる「ふるさとキャリア教育」に取り組む。

（単位：千円）

区分	内容	予算額
学校教育支援事業費 （鳥取県立博物館『ふるさとキャリア教育』学習プログラム）	・博物館資料の館内外での活用を促進するとともに、博物館の持つ専門知識や情報を「ふるさとキャリア教育」学習プログラムとして、学校教育活動や児童生徒に提供する。 ・博物館と学校との連携推進を目的とした「教員のための博物館の日」の開催及び「学校向け貸出し教材」を整備する。	929
生涯学習支援事業	・館内外で各種講演会、ワークショップ、観察会等を開催するとともに、博物館の資料や作品を県内各地で見学・鑑賞してもらう移動博物館・移動美術館を開催する。	5,195
情報発信事業	・ホームページ、SNS等を通して、生涯学習支援、学校教育支援、博物館の収蔵品に関する情報を広く発信する。 ・研究報告、普及誌等の印刷物を作成する。	1,843
合計		7,967

3 事業目標・取組状況・改善点

<事業目標>

- ・常設展示・企画展の充実、教育振興基本計画に掲げた入館者目標値を達成する。
- ・楽しく学べる教育普及プログラムを充実させる。
- ・来館者サービスの向上を図る。

<取組状況・改善点>

- ・オーストラリアとオンラインで結び、絶滅動物から持続可能な人と自然の新たな関係を考える国際シンポジウムを開催した。
- ・盲ろう者団体でのワークショップを開催した。
- ・企画展をさらに深く学べるよう、企画展関連のプログラムを実施した。
- ・とっとりデジタルコレクションにデータを追加・公開した。特に寺社方日記を追加・公開したところアクセス数がかなり増加した。
- ・オンライン機器との接続設定や収蔵庫内でのインターネット接続が難しく、通信インフラの改善が必要である。
- ・コロナ禍で一時期増えた修学旅行の利用が減少したため、県内学校向けの連携の仕方を再検討する。

令和6年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費
6項 社会教育費
3目 博物館費

博物館（電話：0857-26-8045）
(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
美術事業費	9,460	11,311	△1,851				9,460	
トータルコスト	33,718千円（前年度 35,482千円） [正職員：3.1人]							

主な業務内容 学芸業務（常設展示、資料収集、研究相談等）

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

美術資料（絵画・彫刻・工芸・写真等）の保存修復と調査研究を行い、その成果を常設展示と教育普及活動により県民に紹介する。

2 主な事業内容

(単位：千円)

区分	内容	予算額
資料修復研究費	<ul style="list-style-type: none"> ・美術事業や展覧会に関する調査研究 ・郷土の美術作家に関する調査研究 ・保存、展示のための資料修復 	8,715
常設展示費	<ul style="list-style-type: none"> ・彫刻作品の展示公開 	745
合計		9,460

3 事業目標・取組状況・改善点

＜事業目標＞

- ・収集・保存、調査研究を推進し展示を充実する。
- ・県民の豊かな学びを支援する。
- ・調査研究を行い、新たな知見を紹介する。

＜取組状況・改善点＞

- ・2階の近代美術展示室では、収蔵品に新たな視点や研究の成果を加え、年2～3回程度のテーマ展示を県民に提示してきた。また、テーマに沿った内容の他館収蔵品或いは個人所蔵品などを、当館収蔵品と一緒に並べて展示することで、より魅力的な展示（相乗効果）を提示できるよう努めている。
- ・鳥取県の画家などの作品調査や情報収集を積極的に行い、収集評価委員会での審議を経て美術作品を収集し、コレクションの充実に努めている。
- ・収蔵作品の修復は、作品状態と展示予定等を鑑み優先順位を見直しながら計画的に行っている。
- ・資料収集・調査研究等をさらに推進し、県民に新たな知見や発見を提供するために、より効果的な展示等を考えていく。

令和6年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費
6項 社会教育費
3目 博物館費

博物館（電話：0857-26-8042）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 県立博物館改修整備検討事業	25,630	0	25,630				25,630	
トータルコスト	36,402千円（前年度 0千円） [正職員：1人、会計年度任用職員：1人]							
主な業務内容	施設、設備の改修等							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

県立美術館整備と一体的な検討を進めている県立博物館改修について、令和5年度に着手した既存建物の調査、改修方針の検討を引き続き実施する。

2 主な事業内容

(単位：千円)

区分	内容	予算額
改修基本方針検討 (債務負担行為設定済)	<ul style="list-style-type: none"> ○設計業者 現有施設の元設計事業者 ○委託期間 令和5年8月から令和6年8月まで ○委託内容 <ul style="list-style-type: none"> ・耐震改修の改修方針検討 ・老朽改修の改修方針検討 ・熱源改修の改修方針検討 ・法不適合事項の改修方針検討 ・建築基準法既存不適格部分の把握 ・長寿命化（内装/設備）の対応方針 ・工事仮設の対応方針 	25,630

※耐震改修方針の検討は令和6年度当初に検討終了見込であり、「県立博物館耐震改修事業」として耐震補強計画（案）作成に着手する。

3 事業目標・取組状況・改善点

<事業目標>

博物館の現地調査、改修整備の基本方針（老朽改修、熱源改修、法不適合改修）の検討を行う。

<取組状況・改善点>

建築後50年経過に伴う建物の老朽化、基幹設備が耐用年数を超過している現況を総合的に勘案し、計画的に改修を実施することが必要。

令和6年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費
6項 社会教育費
3目 博物館費

博物館（電話：0857-26-8042）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 県立博物館耐震改修事業	10,000	0	10,000	5,000			5,000	
トータルコスト	17,825千円（前年度 0千円） [正職員：1人]							
主な業務内容	博物館耐震改修工事の実施							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

県立美術館整備と一体的な検討を進めている県立博物館改修について、県民（来館者等）の安全確保を最優先とし、文化庁等関係機関との協議に必要となる耐震補強計画（案）の作成に着手する。
県の公の施設のうち耐震補強未実施の施設は県立博物館のみである。

○耐震診断結果

常設展示室（3室）・特別展示室（3室）及び収蔵庫のある3棟全ての全階、レストラン・講堂のある棟の1階（レストラン部分）でIs値（※）が0.66を下回る箇所が多く、倒壊の危険性がある。（最小値：0.3）

※Is値（Seismic Index of Structure）

建物の構造的な耐震性能を評価する指標（構造耐震指標）。Is値が大きいほど耐震性が高い。
本県では国土交通省の耐震診断基準に基づき、施設ごとに建築物が安全であるために必要とされる判定指標を算定している。0.6が基本指標であるが、県立博物館の判定指標は地域による係数（1.1）を乗じた0.66である。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	内容	予算額
耐震改修に係る補強計画案の作成業務	(1) 補強部分の詳細調査 (2) 付帯設備の抽出・検討 (3) 構造計画策定 (4) 耐震補強評価委員会審査に係る経費 (5) 文化庁協議資料作成経費	10,000

※耐震改修工事に係る経費（想定）は23億円程度

3 事業目標・取組状況・改善点

<事業目標>

建築後50年経過に伴う建物の老朽化、耐震力不足等を総合的に勘案し、県立博物館の耐震改修工事を行う。

<取組状況・改善点>

平成26年度 県立博物館現状・課題検討委員会で、今後の県立博物館の在り方について検討
県立博物館の劣化状況調査（耐震診断を含む。）を実施
平成27年度 美術分野を新たに整備する施設（美術館）に移転し、現在の建物を残り2分野（自然分野、歴史・民族分野）の施設として改修する方針により、県立博物館改修基本構想及び美術館整備基本構想の検討を開始
平成29年度 美術館整備基本構想策定
平成30年度 県立博物館改修整備基本構想（中間まとめ）策定
令和5年7月 県立博物館改修整備の見直し検討に着手
令和5年8月 元設計業者に耐震補強計画等の基本策定業務を委託
令和5年度第1回博物館協議会開催
令和5年12月 令和5年度第2回博物館協議会開催
令和6年1月 令和5年度第2回県有施設・資産有効活用戦略会議開催

（参考）第2回県有施設・資産有効活用戦略会議（令和6年1月31日開催）の第一次検討の結果概要

- 従来型手法（県直営）による耐震改修を実施する。
 - ・多くの方が利用する施設であり、能登半島地震も踏まえ、早急な耐震改修が必要である。
 - ・史跡上での耐震化事業では業務の自由度が低いためPFIによる削減効果が出る可能性が低く、リスクがあることもあって事業者の参入意欲や競争性の確保にも課題がある。
- 耐震改修以降の博物館の運営にかかる民間活力の導入の検討については、「令和11年度指定管理施設一斉更新に向けた公の施設のあり方検討」の中で実施する。

令和6年度鳥取県立美術館事業の予算について

(単位：千円)

事業番号	事業名	事業概要	予算額
1	鳥取県立美術館整備推進事業	<p>県立美術館の令和7年3月30日開館に向けて、PFI手法により着実に開館準備を進めるとともに、県全体の機運醸成を県民との連携により行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○整備・運営経費（サービス対価） ○鳥取県立美術館フィールドを活用した人材育成支援事業 ○地域でつくる美術館応援事業 ○県美ノベルティグッズ製作事業 ○美術館整備局運営費 	1,000,134
2	美術館プログラム事業	<p>鳥取県立美術館の令和7年春開館に向けて、県内の文化芸術に係る団体や教育現場等と連携した「県民立」の美術館づくりを進めると共に、美術館への期待を高める活動を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「アート・ラーニング・ラボ（ALL）」推進事業 ○「私たちの県民立美術館」普及啓発事業 ○全県美術館ネットワーク強化推進事業 ○美術館協議会事業 ○美術作品収集評価委員会事業 	26,733
3	屋外美術作品制作委託事業	<p>県立美術館開館までに制作・設置する屋外彫刻作品について、制作・加工、輸送、設置工事にかかる費用について現年要求するもの。</p>	262,400
4	県立美術館利用者20万人達成プロジェクト事業	<p>開館まで残り1年となることから、県内外への広報展開を多方面から強力に進め、令和7年春の県立美術館開館を県内隅々まで届かせるとともに、興味関心を抱かせる広報計画とし、開館後の来館に繋がる仕掛けづくりをPFI事業者及びマスメディア等とも連携し戦略的に実施していく。</p>	118,751
計			1,408,018

令和6年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費
2 項 企画費
8 目 美術館費

美術館整備課（電話：0858-47-3011）
→事業実施：地域社会振興部美術館
(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県立美術館整備推進事業	〔債務負担行為〕 1,956 1,000,134	708,675	〔債務負担行為〕 1,956 291,459				〔債務負担行為〕 1,956 1,000,134	
トータルコスト	1,023,609千円（前年度 724,269千円） [正職員：3人]							
主な業務内容	PFI円滑導入推進事業 等							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

県立美術館の令和7年3月30日開館に向けて、PFI事業者と一体となって着実に開館準備を進めるとともに、開館に向けた機運醸成を図る。

2 主な事業内容

(単位：千円)

区分	内容	予算額
整備・運営経費	PFI事業契約に基づき事業者を支払うサービス対価（債務負担行為設定済）等	946,391
「まんが王国とっとり」関連展示事業	「まんが王国とっとり」紹介コーナーを設置する。3巨匠（水木しげる先生、谷ロジロー先生、青山剛昌先生）や「まんが王国とっとり」の取組を紹介する展示什器の制作委託料、著作権使用料 等	30,546
鳥取県立美術館フィールドを活用した人材育成支援補助金	県立美術館を活用した文化芸術、観光資源への関心づくり及びPFI事業者の知識、ノウハウを学ぶ人材育成の取組を支援する。	500
地域でつくる美術館応援事業	県内で活動する団体等が取り組む、美術館開館に向けた機運醸成、地域活性化及び美術館応援ネットワーク形成に繋がる取組を支援する。 (1) 補助対象：催事等開催に係る経費 補助率：2/3（限度額：1,000千円、7件程度） (2) 補助対象：美術館を支える仲間づくりや活動に係る経費 補助率：10/10（限度額：100千円、8件）	5,800
県美ノベルティグッズ製作事業	ロゴ・シンボルマーク等を活用したノベルティグッズを製作し、広報活動の全県展開を図る。	1,500
美術館整備局運営費等		15,397
合計		1,000,134

3 債務負担行為

美術館に整備する庁内LAN専用回線に係る利用及び保守について、債務負担行為を設定する。

(単位：千円)

区分	年度	予算額（限度額）
庁内LAN専用回線利用料	令和7年度から令和10年度まで	1,956

4 事業目標・取組状況・改善点

<事業目標>

令和7年春開館に向けて、PFI事業者と一体となって県民立美術館として開館準備業務を進めるとともに、地元倉吉市から全県展開を図り、県民や関係者の機運醸成を図る。

<取組状況・改善点>

令和7年春開館に向けて、県民立美術館を実現するため、県内全域対象に出前説明会を開催するとともに、美術館の目的やコンセプト、アート作品の魅力を発信するキャラバン活動を行っている。

令和6年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
8目 美術館費

美術館整備課（電話：0858-47-3011）
→事業実施：地域社会振興部美術館
(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
美術館プログラム事業	26,733	14,279	12,454				26,733	
トータルコスト	34,558千円（前年度 29,873千円） [正職員：1人]							
主な業務内容	「アート・ラーニング・ラボ（ALL）」の推進、「私たちの県民立美術館」普及啓発事業等							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

鳥取県立美術館の令和7年3月30日開館に向けて、県内の文化芸術に係る団体や教育現場等と連携した「県民立」の美術館づくりを進めるとともに、美術館への期待を高める活動を進める。

2 主な事業内容

(単位：千円)

区分	内容	予算額
「アート・ラーニング・ラボ（A.L.L）」推進事業	「アートを通じた学び」を支援する美術ラーニングセンター機能を有効なものとするため、子どもたちが美術作品やアーティストと出会う機会を増やす方法や、美術館と学校との連携方策、館内外での教育普及事業について、実践と調査研究を行う。 ○小学校の県立博物館美術展等への招待 ○対話型鑑賞ファシリテーターの養成（一般ボランティア、学生等） ○県立博物館所蔵作品の「コレクション宅配便」による鑑賞授業等 ○県民とつくる美術館活用プログラム策定	3,190
「私たちの県民立美術館」普及啓発事業	美術館を支える県民を増やすとともに美術館づくりワークショップ「アートの種まきプロジェクト」を行い、美術の新しいファンづくりや機運醸成を図る取組を行う。 ○「県民とつくる美術館ができるまでを伝える」フリーペーパー『Pass me（パスミー）！』の発行ワークショップ ○アートを通じたコミュニティづくり推進事業 ○学芸員による美術館PRキャラバン事業	3,384
全県美術館ネットワーク強化推進事業	○美術館連携促進事業（2,500千円） 県内美術館等が県内外の美術館等と連携し実施する展示事業の開催経費を支援する。 ・補助対象：展示事業に係る作品の輸送等に要する経費、広報に係る経費 ・補助率：10/10（限度額：500千円、5件程度） ○県内美術館等協力連携推進支援事業（2,436千円） 「鳥取県ミュージアム・ネットワーク美術館等協力連携計画」に基づき、各館の協力連携を推進するための具体的取組の実施を支援。 (1) 加盟館学芸員による専門部会（会議）の開催 (2) 学芸員の資質向上を目的とした研修会の開催 (3) 共同企画展の開催	4,936
美術館協議会事業	美術館設置に合わせ、美術館協議会を立ち上げる。	784
美術作品収集評価委員会事業	美術資料収集評価委員会の開催及び寄贈作品等の調査、運搬等を行う。	14,439
合計		26,733

3 事業目標・取組状況・改善点

<事業目標>

「アートを通じた学び」を支援する美術ラーニングセンター「アート・ラーニング・ラボ（A.L.L）」の推進を図る。

<取組状況・改善点>

鳥取県立美術館の特色の一つである「美術ラーニングセンター」の具体的な機能の構築について、引き続き、教育現場等と連携して実践を通じた情報の収集・分析・蓄積等を行っていく。

令和6年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費
2 項 企画費
8 目 美術館費

美術館整備課（電話：0858-47-3011）
→事業実施：地域社会振興部美術館
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)屋外美術作品制作委託事業	262,400	0	262,400				262,400	
トータルコスト	270,225千円（前年度 0千円） [正職員：1人]							
主な業務内容	屋外彫刻作品の制作・設置							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

県立美術館開館に向けて設置する屋外彫刻作品について、制作・加工、輸送、設置工事を行う。

2 主な事業内容

(単位：千円)

設置個所	作品イメージ	作家(在住地)	予算額
エントリープラザ (1点)	最寄りのバス停から美術館に入る正面に位置する広場であり、植栽樹木の並びのなかで人々が行き交い近づくことができる場所に、美術館のコンセプトを象徴する作品を1点制作する。	○青木野枝（日本） ○リー・ウーファン（日本） ○リクリット・ティーラワニット（タイ）	262,400
彫刻の庭（1点）	県民ギャラリーの東側窓に面し、正面入り口など3方向から眺めることができる芝生の庭の中で、違う角度の離れた場所からも楽しめる作品を1点制作する。	○スーパーフレックス ※3人のアーティストで構成（デンマーク）	
創作の森（4点）	建物の西側に設ける街並みから切り離された空間の中で、来館者がくつろぎ、作品に触れつつ対話できるような素材感を活かした作品や参加型の作品の他、縁側やテラスに設置する小型作品等、4点制作する。	○中ハシクシゲ（日本・鳥取県出身） ○鈴木昭男（日本）	

3 事業目標・取組状況・改善点

< 事業目標 >

美術館の外構や周辺環境と調和し、かつ人々を館内に招き入れる魅力を持った屋外作品を制作する。

< 取組状況・改善点 >

屋外作品収集の考え方に沿ったコンセプトの作品を手掛ける作家に現地調査を依頼し、調査結果を元に、制作委託先候補の選定を行った。

令和6年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費
2 項 企画費
8 目 美術館費

美術館整備課（電話：0858-47-3011）
→事業実施：地域社会振興部美術館
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
県立美術館利用者20万人達成プロジェクト事業	118,751	13,141	105,610				118,751	
トータルコスト	126,576千円（前年度 28,735千円） [正職員：1人]							
主な業務内容	開館に向けた機運醸成及び開館記念展の準備事業							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

開館まで残り1年となることから、県内外への広報展開を多方面から強力に進め、令和7年春の県立美術館開館を県内隅々まで届かせるとともに、興味関心を抱かせる広報計画とし、開館後の来館に繋がる仕掛けづくりをPFI事業者及びマスメディア等とも連携し戦略的に実施していく。

2 主な事業内容

（単位：千円）

事業名	内容	予算額
開館に向けた機運醸成カウントダウン事業	3月の美術館開館に向け全県的な機運醸成を図るため、中部で実施するオープニングイベントに繋がる一体的なイベントをカウントダウン形式で東・西部で実施するとともに、ハード、ソフトの両面から県民の目に見える形での「美術館開館年」を届け、開館への期待と来館に繋げる。 ○カウントダウン全県イベント（東、西部で各1回） ○メディアと連携した開館記念イベント ○メディア発信	16,500
開館初年度企画展開催準備等事業	開館記念に相応しい大規模な初年度企画展の開催準備を計画的に進めていく。 【企画展実行委員会への出資（負担金の拠出）】 ○借用作品の輸送、展示・撤収、保険料 ○展示設計施工費 ○企画展示室看視員人件費 ○関連イベント消耗品購入費 ○開館初年度企画展の来館者増対応に伴う館内外整理スタッフ人件費、仮設サイン等の増設費 【県業務分】 ○調査交渉旅費、借用作品所蔵館保全担当者同行旅費（海外も含む） ○著作権使用料、作品借用料 ○展示・広報・図録の原稿執筆・翻訳の謝金 ○図録等の販売委託手数料 など	96,251
全国芸術祭連携事業	令和6年度に岡山県を中心に開催される森の芸術祭、令和7年度に開催される瀬戸内国際芸術祭と連携し、鳥取県立美術館のPRを実施するとともに、各芸術祭の来場者の鳥取県への誘客を図る。	2,000
観光誘客促進事業	○観光誘客促進事業（県観光連盟への委託） ・県内外の旅行会社への誘客に向けた商談、PRの実施 ・イベント内での広報活動、現地視察の実施、観光促進SNSの活用 ○専門冊子等への掲載事業 Web媒体を含む旅行、美術関連冊子等により県立美術館をはじめとする鳥取県中部エリアの美術・観光コンテンツを発信する。	4,000
合計		118,751

3 事業目標・取組状況・改善点

< 事業目標 >

県立美術館利用者20万人の目標達成に向け、全県的な機運醸成を図るため、県内3会場でイベントを開催するとともに、開館初年度の大規模企画展開催のための作品借用等の準備を行う。

< 取組状況・改善点 >

節目を契機としたイベント（上棟、500日前）を開催し、機運醸成を図ってきた。また開館初年度企画展について、作品借用交渉に向け、企画展全体図の練り上げ及び交渉作品選定を進めている。